

第2章 看護職員の従事状況

看護職員の令和4年度の従事状況を把握するため、県内全ての病院及び訪問看護事業所を対象として、採用者及び退職者の状況について調査を行った。

調査年月日	調査対象	送付数	回収数	回収率
令和5年7月～9月	県内病院	139	137	98.6%
	県内訪問看護事業所	160	157	98.1%

1 病院における看護職員の従事状況

(1) 令和4年度の採用状況

令和4年度は、募集人数1,541人に対し、採用人数は1,262人である。
 職種別でみると、看護師が1,105人で最も多く、次いで准看護師128人、助産師27人、保健師2人となっている。
 また、年齢別でみると、20歳代が750人(59.4%)、30歳代が197人(15.6%)、40歳代が173人(13.7%)となっており、20歳代から40歳代が全採用者の88.7%を占めている。

表1 職能別採用状況 (単位：人)

区分	保健師	助産師	看護師	准看護師	計
募集	4	34	1,274	229	1,541
採用	2	27	1,105	128	1,262
新卒者※	0	15	560	27	602

※「新卒者」とは、看護師等学校養成所を卒業し、初めて就業する者

表2 年齢別採用状況 (単位：人)

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計
人数	11	750	197	173	95	36	1,262
割合	0.9%	59.4%	15.6%	13.7%	7.5%	2.9%	100.0%

(2) 令和4年度の退職状況

令和4年度の退職者は1,374人である。
 勤務年数別でみると「1～5年」が620人(45.1%)で最も多く、年齢別でみると「20～29歳」が497人(36.2%)で最も多い。
 退職者のうち「自己都合による退職」が9割以上を占め、自己都合退職の理由としては、「他の職場(看護職)への興味」、「転居」、「健康上の理由(身体的)」が多い。また、年齢が上がるほど、「健康上の理由(身体的)」が多く、年齢が若いほど「健康上の理由(精神的)」が多い。新卒者においては、「健康上の理由(精神的)」が最も多い。

表3 職能別退職状況 (単位：人)

区分	保健師	助産師	看護師	准看護師	計
退職	7	22	1,095	250	1,374
自己都合	7	20	1,011	237	1,275

表4 退職時の勤務年数

(単位：人)

勤務年数	1年未満	1～5年	6～10年	11～15年	16～20年	21年以上	計
人数	195	620	217	136	58	148	1,374
割合	14.2%	45.1%	15.8%	9.9%	4.2%	10.8%	100.0%

表5 退職時の年齢

(単位：人)

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計
人数	3	497	276	238	173	187	1,374
割合	0.2%	36.2%	20.1%	17.3%	12.6%	13.6%	100.0%

表6 自己都合退職の理由（複数回答）

(単位：人)

	～19歳	20代	30代	40代	50代	60歳～	合計	新卒 (再掲)
結婚	0	72	22	6	1	0	101	2
出産・育児	0	23	36	13	0	4	76	1
健康上の理由（身体的）	0	13	14	14	36	47	124	4
健康上の理由（精神的）	0	51	18	18	11	6	104	9
親族の健康・介護	0	11	17	19	29	15	91	1
転居	1	68	36	18	8	1	132	2
他の職場（看護職）への興味	2	131	44	65	28	4	274	7
他職種への興味	0	25	14	9	5	3	56	2
キャリアアップ目的	0	11	8	6	0	0	25	1
給与についての不満	0	5	5	8	10	4	32	0
休暇についての不満	0	3	3	8	4	2	20	0
超過勤務、夜勤の負担	0	4	2	4	5	1	16	0
人間関係の悩み	0	22	17	23	14	5	81	4
自分の適性・能力への不安	0	19	11	13	8	10	61	1
医療事故や責任の重さへの不安	0	7	3	6	2	2	20	2
その他 ※	0	51	35	27	21	13	147	3

※ 家庭の事情、家事専念、通勤の負担、妊活、都会に住みたい 等

2 訪問看護事業所における看護職員の従事状況

(1) 令和4年度の採用状況

令和4年度は、募集人数159人に対し、採用人数は135人である。
 職種別でみると、看護師が128人、准看護師が7人となっている。
 また、年齢別でみると、40歳代が46人(34.1%)で最も多く、次いで30歳代が28人(20.7%)である。採用者のうち、新卒者は2人となっている。

表7 現員数(令和5年4月1日現在) (単位:人)

保健師	助産師	看護師	准看護師	計
25	0	853	78	956

【参考】その他の職員 (単位:人)

理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	事務	その他	計
133	76	22	74	11	316

表8 職能別採用状況 (単位:人)

区分	保健師	助産師	看護師	准看護師	計
募集	0	0	150	9	159
採用	0	0	128	7	135
新卒者※	0	0	2	0	2

※「新卒者」とは、看護師等学校養成所を卒業し、初めて就業する者

表9 年齢別採用状況 (単位:人)

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計
人数	0	19	28	46	26	16	135
割合	0.0%	14.1%	20.7%	34.1%	19.3%	11.9%	100.0%

(2) 令和4年度の退職状況

令和4年度の退職者は102人である。
 勤務年数別でみると、5年以内の退職が79.4%を占めており、年齢別でみると、50歳代が36人(35.3%)で最も多い。
 退職者のうち「自己都合による退職」が9割以上を占め、自己都合退職の理由としては、「健康上の理由(身体的)」、「自分の適性・能力への不安」が多い。また、年齢が上がるほど、「健康上の理由(身体的)」が多い。

表10 職能別退職状況 (単位:人)

区分	保健師	助産師	看護師	准看護師	計
退職	1	0	97	4	102
自己都合	1	0	89	4	94

表 1 1 退職時の勤務年数

(単位：人)

勤務年数	1年未満	1～5年	6～10年	11～15年	16～20年	21年以上	計
人数	32	49	13	3	1	4	102
割合	31.4%	48.0%	12.7%	2.9%	1.0%	3.9%	100.0%

表 1 2 退職時の年齢

(単位：人)

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計
人数	0	5	19	25	36	17	102
割合	0.0%	4.9%	18.6%	24.5%	35.3%	16.7%	100.0%

表 1 3 自己都合退職の内容（複数回答）

(単位：人)

	～19歳	20代	30代	40代	50代	60歳～	合計	新卒 (再掲)
結 婚	0	0	1	0	0	0	1	0
出産・育児	0	1	2	1	0	0	4	0
健康上の理由（身体的）	0	0	3	4	9	9	25	0
健康上の理由（精神的）	0	0	3	3	4	2	12	0
親族の健康・介護	0	0	1	2	3	2	8	0
転 居	0	1	2	1	0	0	4	0
他の職場（看護職）への興味	0	2	1	4	3	0	10	0
他職種への興味	0	0	2	0	1	2	5	0
キャリアアップ目的	0	0	2	1	0	0	3	0
給与についての不満	0	0	1	1	0	0	2	0
休暇についての不満	0	0	0	0	0	0	0	0
超過勤務、夜勤の負担	0	0	0	1	2	0	3	0
人間関係の悩み	0	0	1	4	6	1	12	0
自分の適性・能力への不安	0	1	3	4	9	0	17	0
医療事故や責任の重さへの不安	0	0	1	0	1	2	4	0
その他 ※	0	0	2	3	5	3	13	0

※ 家庭の事情、自動車運転の負担、新規事業所開設 等

3 専門性の高い看護職員の従事状況

(1) 病院における認定看護師の配置状況

病院における認定看護師の従事者数は279人であり、分野別で見ると、「感染管理」が最も多く、次いで「緩和ケア」が多い。

表14 病院における認定看護師従事者数（令和5年7月現在）

認定者数（実）		279				
分野別 認定者数（実）	A 課程	救急看護	11	B 課程	クリティカルケア	8
		集中ケア	18		皮膚・排泄ケア	1
		皮膚・排泄ケア	20		緩和ケア	3
		緩和ケア	23		がん薬物療法看護	2
		がん性疼痛看護	7		在宅ケア	1
		がん化学療法看護	21		感染管理	8
		訪問看護	0		糖尿病看護	2
		感染管理	51		生殖看護	0
		糖尿病看護	9		新生児集中ケア	0
		不妊症看護	0		腎不全看護	1
	新生児集中ケア	6	手術看護	0		
	透析看護	2	乳がん看護	0		
	手術看護	8	摂食嚥下障害看護	4		
	乳がん看護	2	小児救急看護	0		
	摂食・嚥下障害看護	15	認知症看護	3		
	小児救急看護	0	脳卒中看護	0		
	認知症看護	17	がん放射線療法看護	1		
	脳卒中リハビリ看護	7	慢性呼吸器疾患看護	0		
	がん放射線療法看護	4	慢性心不全看護	0		
	慢性呼吸器疾患看護	4				
慢性心不全看護	5					
精神科看護	15					

(2) 訪問看護事業所における認定看護師の配置状況

訪問看護事業所における認定看護師の従事者数は13人であり、分野別で見ると、「精神科看護」が最も多く、次いで「訪問看護（A課程）」が多い。

表15 訪問看護事業所における認定看護師従事者数（令和5年7月現在）

認定者数（実）		13				
分野別 認定者数（実）	A 課程	救急看護	0	B 課程	クリティカルケア	0
		集中ケア	0		皮膚・排泄ケア	0
		皮膚・排泄ケア	0		緩和ケア	0
		緩和ケア	0		がん薬物療法看護	0
		がん性疼痛看護	0		在宅ケア	0
		がん化学療法看護	1		感染管理	0
		訪問看護	3		糖尿病看護	0
		感染管理	0		生殖看護	0
		糖尿病看護	1		新生児集中ケア	0
		不妊症看護	0		腎不全看護	0
	新生児集中ケア	0	手術看護	0		
	透析看護	0	乳がん看護	0		
	手術看護	0	摂食嚥下障害看護	0		
	乳がん看護	0	小児プライマリケア	0		
	摂食・嚥下障害看護	0	認知症看護	0		
	小児救急看護	0	脳卒中看護	0		
	認知症看護	0	がん放射線療法看護	0		
	脳卒中リハビリ看護	0	慢性呼吸器疾患看護	0		
	がん放射線療法看護	0	慢性心不全看護	0		
	慢性呼吸器疾患看護	0				
慢性心不全看護	0					
精神科看護	8					

(3) 病院における特定行為研修修了看護師の配置状況

病院における特定行為研修修了看護師の従事者数は110人であり、区分別で見ると、「栄養および水分管理関連に係る薬剤投与関連」が多く、次いで「創傷管理関連」が多い。

表16 病院における特定行為研修修了看護師従事者数（令和5年7月現在）

修了者数（実）		110
区分別修了者数（延）	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	20
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	27
	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	30
	循環器関連	4
	心嚢ドレーン管理関連	3
	胸腔ドレーン管理関連	5
	腹腔ドレーン管理関連	7
	ろう孔管理関連	20
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	13
	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	13
	創傷管理関連	45
	創部ドレーン管理関連	15
	動脈血液ガス分析関連	19
	透析管理関連	6
	栄養および水分管理関連に係る薬剤投与関連	97
	感染に係る薬剤投与関連	42
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	23
	術後疼痛管理関連	6
	循環動態に係る薬剤投与関連	14
	精神および精神症状に係る薬剤投与関連	13
皮膚損傷に係る薬剤投与関連	3	

(2) 訪問看護事業所における特定行為研修修了看護師の配置状況

訪問看護事業所における特定行為研修修了看護師の従事者数は5人であり、区分別で見ると、「栄養および水分管理関連に係る薬剤投与関連」が多く、次いで「創傷管理関連」が多い。

表17 訪問看護事業所における特定行為研修修了看護師従事者数（令和5年7月現在）

修了者数（実）		5
区分別修了者数（延）	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	0
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	2
	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	2
	循環器関連	0
	心嚢ドレーン管理関連	0
	胸腔ドレーン管理関連	0
	腹腔ドレーン管理関連	0
	ろう孔管理関連	1
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	0
	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	0
	創傷管理関連	3
	創部ドレーン管理関連	0
	動脈血液ガス分析関連	0
	透析管理関連	0
	栄養および水分管理関連に係る薬剤投与関連	4
	感染に係る薬剤投与関連	2
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	2
	術後疼痛管理関連	0
	循環動態に係る薬剤投与関連	0
	精神および精神症状に係る薬剤投与関連	1
皮膚損傷に係る薬剤投与関連	0	